

NEWS RELEASE

平成 22 年 1 月 4 日

**グループ全体での経営力の強化とソリューション力の向上に向けて、
700 名の経営人材を育成する「電通マネジメント・インスティテュート」と「電通マネジメント塾」を設置**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：高嶋達佳）は、2009 年 7 月に発表した中期経営計画「Dentsu Innovation 2013」の実現に向けて、グループの経営力をより一層強化するとともに、クライアントやメディア、コンテンツホルダーが抱える多様な経営課題や事業課題に対し、バリューチェーンの川上から川下までを一貫してサポートできる体制を整えソリューション力を向上させるために、2010 年 4 月 1 日付けで、「電通マネジメント・インスティテュート」と「電通マネジメント塾」を設置いたします。

今日、当社グループの事業領域の拡大に伴い、連結対象である国内外のグループ会社は 125 社（H21.9 末現在）を数え、これらグループ各社のより一層の経営管理の強化が大きな課題となっております。当社グループではこうした課題に対応するために、一橋大学大学院国際企業戦略研究科と共同で「電通マネジメント・インスティテュート」を設置し、5 年間で約 200 名の経営の人材ベースを作っています。1 年間のカリキュラムを受講後には、研修プログラムにおける評価に基づき、計画的な異動・配置を行い、経営人材のマネジメントサイクルを確立いたします。

また、クライアントは当社グループに対し、広告コミュニケーション領域に留まらず、経営戦略、事業戦略、商品開発、製造・生産、チャネル開発、アフターマーケティングなど多岐にわたる領域の統合的なソリューションを求めています。こうしたニーズに対応していくためには、経営に関する知識・スキル・ノウハウを習得した人材を現場の第一線に配置していく必要があり、その一環として、経営に関するナレッジを学ぶ 3 ヶ月間のプログラムとして「電通マネジメント塾」を設置し、5 年間で 500 名の人材を育成してまいります。

さらに、デジタルやグローバルの専門人材の育成、既存研修の強化・拡充および役職に応じた短期研修プログラムをより一層充実させることで、中期経営計画で示した 5 つのイノベーションを着実に推し進め、当社グループの競争力を強化していく一助としてまいります。

【電通マネジメント・インスティテュートの概要】

- ・ カリキュラム : リーダーシップ、組織と人材論、グローバリゼーション、ロジカルシンキング、アカウンティング、ファイナンス、投資・M&A等。
全70講義(当社と一橋大学大学院国際企業戦略研究科による共同開発)
- ・ 講師 : 一橋大学大学院国際企業戦略研究科の野中郁次郎教授、楠木建准教授他
当社グループ取締役、執行役員他
- ・ 実施場所 : 当社「鎌倉研修所」
- ・ 実施時期 : 2010年4月にスタートし、毎年4月からの約1年間。
研修は主に週末を活用し月1回実施予定。
- ・ 受講者数 : 5年間で約200名(指名制)
- ・ 受講者特性 : 30代を中心としたマネジメント職手前の社員。

【電通マネジメント塾の概要】

- ・ カリキュラム : 経営戦略、アカウンティング、ファイナンス等
- ・ 講師 : 株式会社グロービスの講師陣
- ・ 実施場所 : 電通本社ビル内
- ・ 実施時期 : 3ヶ月内8日間。春(5~7月)・秋(10月~12月)の年2回実施
- ・ 受講者数 : 5年間で約500名(指名制)
- ・ 受験者特性 : 日常業務において経営に関するナレッジを必要とする社員

以上